



# The Hitoyoshi Rotary

人 吉

通 算 2773回  
2013年11月1日  
第17回例会  
毎週金曜日

## ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

会報編集 川越公弘委員

Engage Rotary, Change Lives

2013-2014年度 R I 会長  
ロン D. バートン

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎②2171 ◀ 例会場 事務局 ▶ 清流山水花 あゆの里内 ☎②6665 ☎②6505

[URL] <http://www12.ocn.ne.jp/~hrc/> [E-mail] [hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp](mailto:hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp)

クラブ活動記録 [URL] <http://hrcwatanabe.jimdo.com/>

### 11月 ロータリー財団月間 点 鐘

渡辺洋文会長

歌 唱 ヲグラーダー 坂井初男委員  
国 歌 「君が代」  
R S 「我等の生業」

司会・進行 平田プログラム委員長

来訪者紹介 渡辺洋文会長

人吉税務署 署長 堂前 弘幸 様  
" 総務課長 井上 明 様

### 会長の時間

渡辺洋文会長



今月はロータリー財団月間と  
なっていますので、財団の歴史等  
を簡単にご紹介したいと思います。  
ロータリー財団月間卓話も計  
画されているようですので詳しく  
説明があると思います。

### ロータリー財団の歴史

1917年、アーチ C. クランフRI会長が「世界で  
よいことをするために」基金の設置を提案。こ  
の基金が1928年に「ロータリー財団」と名づけ  
られて国際ロータリー内の新しい組織となり、  
現在のロータリー財団にいたっています。

### 財団の成長

1929年、財団は初の補助金500ドルを国際障  
害児協会へ贈りました。この協会は、ロータリア  
ンだったエドガー F. “ダディー” アレンが  
創設したもので、後に「イースター・シール  
ズ」（米国の慈善団体）となりました。

1947年、ロータリー創設者のポール・ハリスが  
亡くなると、多くの人びとから国際ロータリー  
に寄付が寄せられました。この寄付は「ポー  
ル・ハリス記念基金」となって、その後のロー  
タリー財団の発展のために役立てられました。

### 財団プログラムの変遷

#### 1947年

財団初のプログラム「Fellowships for Ad-  
vance Study (高等教育のためのフェローシッ  
プ)」を開始。このプログラムは後に「国際親  
善奨学金」として知られるようになる。

#### 1965~66年

財団が新たに「研究グループ交換 (GSE) 」  
「Awards for Technical Training (技術研修  
のための補助金) 」 「Grants for Activities  
in Keeping with the Objective of The Ro-  
tary Foundation (ロータリー財団の目的を果  
たす活動のための補助金、後の「マッチング・  
グラント) ) 」の3つのプログラムを開始。

#### 1978年

「保健、飢餓追放、人間性尊重 (3-H) 補助金  
プログラム」を開始。3-H補助金のプロジェクト  
第一号として、フィリピンの600万人の子ど  
もたちにポリオの予防接種を実施。

#### 1985年

全世界でポリオの撲滅をめざす「ポリオプラ  
ス・プログラム」を設置。

#### 1987~88年

初めての平和フォーラムが開催され、これが  
「ロータリー平和フェローシップ」創設のきっ  
かけとなる。

#### 2013年

世界中のロータリアンがグローバルなニーズに  
応えられるよう、新しい補助金モデル（地区補  
助金、グローバル補助金、パッケージ・グラ  
ント）を導入。

新しい補助金の仕組みや活用の仕方などの紹  
介も卓話の中で詳しく説明が有ると思います。

1917年に26ドル50セントの寄付から始まったロータリー財団は、10億ドル以上の寄付を受けるほどの大きな財団に成長しました。財団はこうして多くの方々に支えられ、人道的分野や教育面での支援活動を続けています。

さて、早いもので、今年度の年次総会が12月の6日に開催されます。年次総会で次々年度会長・次年度役員・理事の発表をして、承認を受けなければいけません。クラブ細則第1条第1節により総会の1ヶ月前に次々年度会長候補者の指名を求めています、つきましては、次回の例会日11月8日までに、自薦他薦問いませんので、会長か幹事にお申し出下さい。よろしく御願いたします。

### 幹事報告

有馬宏昭副幹事



### 【連絡事項】

- ①熊本東南RCより創立30周年記念式典の案内  
日時；H26 4/19(土)15:00～  
場所；熊本ホテルキャッスル  
開催が近づきましたら登録を募ります。
- ②RI2720地区創造的奉仕プロジェクト部門より部門セミナー開催の案内及びアンケート  
日時；12/8(日)13:00～  
場所；学校法人銀杏学園熊本保健科学大学  
義務出席者は、会長、幹事、奉仕プロジェクト委員長、社会奉仕委員長、国際奉仕委員長と希望者です。奉仕プロジェクト委員メンバーも含め後日参加を募ります。  
アンケートは立山委員長へお渡しします。
- ③RI2720地区青少年奉仕部門より12月のロータリー家族月間にあたり、ロータリー家族清掃活動への参加協力依頼  
日時；12/1(日)9:00～11:00  
ローターアクトとの合同活動になります。
- ④11月のロータリーレート 1ドル=100円
- ⑤熊本県青少年育成県民会議より「H25年度熊本県青少年健全育成県民フォーラム」の開催案内  
日時；12/1(日)13:30～16:10  
場所；県庁地下大会議室  
新世代(青少年)馬場委員長へお渡し

### 【配布物】

ガバナー月信11月号

### 【例会変更・取止め】

熊本北RC11/14→11/11 18:30～  
熊本グリーンRCと合同例会場所「熊本ホテルキャッスル」



## ≪ 寄付の申し出 ≫

R財団・米山奨学

外山博之会員



先日の母の葬儀に際しましては、ご多用の中、ロータリー会員の皆様には多数ご参列を頂きありがとうございました。無事に葬儀が済み、一安心しているところです。今後とも相変わらずのご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。ありがとうございました。

### 出席率報告

戸高克彦委員長

本日の出席率			
会員数	64名	<b>83.61%</b>	
出席免除	3名	10/18出席率	73.77%
欠席者数	10名	補填数	16名
出席者数	51名	修正出席率	100%

\*届け出欠席 延岡・中村・堤正・井手・石蔵・宮山・山田  
尾上・大賀・湊田

\*出席免除会員 (b) 増田, 愛甲, 山本

\*メイクアップ

地区RA年次大会；安達・愛甲・赤池・青木・有馬・有村  
浅野・馬場・湊田・原田・葉山・平田  
本田・井手・伊久美・石蔵

### 【会員より】 川上哲治氏を偲んで

赤池利光会員



昨日、川上哲治さんの訃報を知りました。川上哲治さんは読売巨人軍で活躍され、打撃の神様と呼ばれ、そして読売巨人軍の監督として日本シリーズ9連覇の偉業を成し遂げられた我が郷土が最も誇れるお方でした。川上哲治さんは私たち人吉ロータリークラブとも深いかわりがあります。創立30周年記念式典時の記念品、有田、対山窯の一升徳利の「球磨焼酎」の文字は氏からの色紙を使ったものでした。さらには、23年前の10月12日から14日にかけて私たちが主催した大平ガバナー年度地区年次大会(当時の名称)における特別記念講演では「私の野球人生」を演題にカルチャーパレス大ホールの大観衆が感動の一時間でした。氏が故郷人吉に帰って来られ、公式の場にお立ちいただいたのは、私たち人吉ロータリークラブの招聘が最初で、その2年後に当市の名誉市民に推戴されています。

ここで、皆さんと、



川上哲治さんのご生前のご功績を偲び、心から  
ご冥福をお祈りいたします。

岩本泰典会員

平成2年、人吉で開催された年次大会記念講演の編纂に携わりました。講演を録音し、水俣市役所の速記者、黒肥地さんへ文書化して貰いました。テープを聴きながら約19000字に及ぶ数を活字に起こすのですから、素人には想像がつかせません。感謝はしたものの、速記者が女性の方ですので野球用語が不得手だったので、校正が大変でした。講演内容は『私の野球人生』でして、球際に強くなろうでしたが、玉際になっています。野球をやっていた自分でさえ、球際など初めて聞く言葉ですから無理ありません。西武が西部であったり、理解できない部分がありました。幾度もやり取りをし、最後にはフロッピーを貰い校正しましたが、画面が一行しか表示できぬ中古のNECワープロなので苦労しました。この記念誌を持っておられるメンバーも少なくなりました。監督さんのご逝去を哀悼し、この講演内容を復刻したいものです。

## 【プログラム委員会】

### 外部卓話

講師紹介

尾方芳樹会員

人吉税務署長（71代署長）

どうまえ ひろゆき

堂前 弘幸 様 56歳

鹿児島県出水市出身



経歴；

昭和51年4月 熊本国税局採用

（税務大学校普通科 東京研修所）

10年間の東京国税局管内勤務を経て、昭和61年

7月 川内税務署にUターン

平成元年 人吉税務署 関税部門

その後、熊本国税局、大分税務署、熊本西税務署、熊本東税務署を経て、

平成19年 大分税務署 特別調査管（法人）

平成21年 熊本国税局 酒類業調査管

（熊本西税務署派遣）

平成22年 東京国税局 江東東税務署 副署長

平成24年 熊本国税局 消費税課長

平成25年7月 人吉税務署長

家族；妻、子供3人

趣味；愛犬との散歩、ラジオ体操

「税あれこれ」

人吉税務署 堂前弘幸

①税務を取巻く環境(社会・経済の変化)等について

社会保障と税の一体改革

(なぜ税率引き上げなのか?)

現行の社会保障制度の基本的な枠組みが構築された60年代から今日までの社会的情勢の変化(少子高齢化、雇用環境の変化、家族構成の変化、経済成長の停滞)

少子高齢化⇒高齢化率1970年7.1%⇒2010年23.0%へ  
合計特殊出生立(2.13)⇒(1.39)

雇用環境の変化(非正規労働の増加)

⇒非正規職員・従業員数

(1984年604万人⇒2010年1756万人)

家族の在り方の変容

(3世代同居の減少・高齢独居世帯の増加)

⇒65歳以上の単身・夫婦のみ世帯数

(70年 96万世帯⇒10年 1081万世帯)

経済成長の停滞

(少子高齢化などによる構造的停滞)

⇒実質経済成長率(9.1%⇒0.9%)

★年金や医療関係の給付と財政の関係

高齢化の進展に伴い、社会保障給付費が大きく伸びる一方で、社会保険料収入は横ばいで推移し、その差額は拡大傾向が続く。この差額は、税金だけでなく多額の借金によって賄われており、このままの状態を放置すれば現在の社会保障制度を維持していくことが困難となる恐れ。

★社会経済情勢が大きく変化する中で、社会保障制度をいかに維持し、いかに充実していくかが問われている。そのための安定財源の確保を通じて、諸外国で最悪の状況にある我が国の財政の健全化を目指すことが必要。今般の改革(社会保障と税の一体改革)は、①**社会保障の充実**、**安定化**と②**財政健全化**という我が国にとっての**2大目標の同時達成を目指す**ものである。

②改正消費税法の概要について

国の財政問題及び税収の推移等から安定財源としての消費税

(国の予算、税収の編纂の資料配布)

消費税1%で約2.7兆円の税収⇒安定した財源

昨年8月に改正消費税法が成立。その中で附則事項に景気動向等の最終判断項目有

10月1日に安倍首相が最終判断⇒改正法の定着と転嫁対策等の広報を積極的に。

○費税収入の使途の明確化

増収分は全額を社会保障4経費(年金、医療、介護、少子化対策)に拡大することを法律上明確化

○税率の引き上げ(2段階)

★所得の低い方々への配慮

税率の引き上げに当っては、所得の低い方々に

配慮する観点から、給付付き税額控除等又は複数税率の導入について検討を行うこととされている。また、それまでの間の暫定的、臨時的措置として、簡素な給付措置が実施されることとなっている。

(1万円の現金支給等が行われる見込み⇒実施方法等詳細は今後正式決定される見込み)

#### ★参考

複数税率⇒定義の問題、事業者の事務負担の問題等も

例えば、食料品への低税率適用などが検討されているが、食料品の定義等には想像以上の事務量と事業者負担が伴うとの意見も。

○新規設立法人の免税点制度の不適用制度の創設

○任意の中間納付制度の創設

○経過措置

一定の要件のもと、4月1日以降も旧税率を適用するもの  
住宅や定期、前売り券等

③消費税転嫁対策特別措置法の概要

(25.10.1~29.3.31の時限立法)

転嫁問題は事業者間取引に適用。小売価格は事業者が決定する⇒転嫁等の話じゃない。

(基本⇒消費税の最終負担者は消費者である⇒転嫁を予定した税)

- ・転嫁拒否等の行為の是正  
(買い叩き・転嫁拒否等への検査指導等)
- ・転嫁を阻害する表示の是正  
(消費税を転嫁していない旨の表示等の禁止)
- ・価格の表示(総額表示義務の特例)
- ・転嫁及び表示カルテルの独禁法適用除外

○転嫁状況に関する調査(公取、中小企業庁、業種所管庁)

○事業者・消費者に対する広報(政府一丸)

○転嫁拒否等に関する相談体制の整備  
(各省庁及び内閣府に設置の相談センター)

○総額表示義務の特例措置(政府一丸)

★これらについては全国の税務署に「改正消費税コーナー」を設置し相談体制を確保

◎最後に、税の意義と役割について

申し上げるまでもなく、税は「社会の会費」すなわち、公的サービスの費用を賄うためのものであり、みんながお互いに支え合い、共によりよい社会を作っていくため、この費用を広く公平に分かち合うことが必要。

公的サービスを賄うのに十分かつ安定した税が必要。社会保障給付などの公的サービスと税・社会保険料の負担は両方の大きさが等しくなることが基本、負担を将来世代に先送りしないようにすることが私たちの責任では。

改正消費税の定着にご理解とご協力を、11月11日から17日の1週間は「税を考える週間」である。この機会に今後の税制の在り方や、改正消費税等に関して、各々がしっかりと考えていただける機会になったならば幸いです。

最後までのご静聴に感謝いたします。

【ニコニコ箱カード】 宮原和広米山委員長

・伊久美会員 人吉税務署長堂前弘幸様、総務課長井上明様、卓話。御来訪ありがとうございました。

・尾方会員 堂前弘幸署長様、卓話ありがとうございました。井上総務課長ご苦勞様でした。

・渡辺会長 人吉税務署長堂前弘幸様、卓話ありがとうございました。

・赤池会員 川上哲治様のご冥福を心からお祈りいたします。

・馬場会員 今月6日より森のホールで郡市の校長先生のOB会の作品展があります(入場無料)。我がロータリークラブの鳥井先生も書を出展なさるようです。皆様見に行ってみましょう。

・齊藤会員 長期お休みをいただき、ヘルニアの手術をしてきました。おかげ様で目標の杖なし出席ができて、順調に回復しています。ゴルフは来年までおあずけですが、再プレーを楽しみにしています。本日は所用で早退させていただきます。

・延岡会員 人吉税務署長堂前様、卓話ありがとうございました。本日は所用で宮崎に行っており、不在して申し訳ありません。

【R財団カード】

・延岡会員 人吉税務署長堂前様、卓話ありがとうございました。

【米山カード】

・宮原会員 R財団委員長が寄附をされましたので私も米山委員長として米山カードに寄附をします。

・延岡会員 人吉税務署長堂前様、卓話ありがとうございました。